

災害に関する情報

避難の心得

災害時の避難は身を守るために最も重要なことです。安全な場所に「早めに避難」することが大切です。日ごろから「自分たちの命はまず自分で守る」という心構えを持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。また、災害にあっても常に落ち着いて行動できるように考えておきましょう。

●避難の指示があった場合は、速やかにその指示に従いましょう。

●避難とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。

●避難する前に、ガスの元栓は閉め（プロパンガスは、ボンベのコックも閉める）、停電の際には電気器具のスイッチ、電気のブレーカーを切っておきましょう。

●ハザードマップで自宅周辺の災害リスクを確認しましょう。札幌市の浸水・土砂災害のハザードマップは、以下のキーワードで検索し、ご確認ください。

札幌市浸水ハザードマップ

札幌市土砂災害ハザードマップ

風水害時の避難の目安

警戒レベル1と2は気象庁から発表、3～5は市から発令します。

警戒レベル1	警戒レベル2	警戒レベル3	警戒レベル4	警戒レベル5
早期注意情報 気象警報が出る可能性を発表。気象情報に注意。	大雨・洪水注意報 気象注意報を発表。避難先や経路などの確認を。	高齢者等避難※1 避難に時間を要する方は、危険な場所から避難開始。	避難指示 災害が発生する恐れが高い状況。 危険な場所から全員避難行動※2!	緊急安全確保 すでに災害が発生または切迫している状況。 命の危険直ちに安全確保!

※1 避難に時間を要する方以外の方も避難の準備を整えてください。

※2 避難場所といった安全な場所への移動（立ち退き避難）だけでなく、建物の上の階に移動（垂直避難）するなど、状況に応じた身を守るためのあらゆる行動のこと。

緊急連絡先 ※市外局番はすべて011です。

- 火事の発生場所（自動案内） ☎201-0011
- けがの当番病院（自動案内） ☎201-0099
- 救急医療相談、医療機関案内
救急安心センターさっぽろ（24時間、365日対応） ☎#7119 または ☎272-7119
- 夜間急病で受診したいとき

	診療科・開設時間	所在地	電話番号
夜間急病センター（365日対応）	内科・小児科：19時～翌7時 耳鼻咽喉科・眼科：19時～23時	中央区大通西19丁目WEST19	☎641-4316
口腔医療センター（365日対応）	歯科：19時～23時	中央区南7条西10丁目	☎511-7774

- 電気がつかないとき 北海道電力(株) ☎0120-06-0327
- ガス漏れのとき 北海道ガス(株) ☎0570-009190(ナビダイヤル) ※ナビダイヤルを利用できない場合 ☎792-8100
※プロパンガスについては最寄りの取引販売店へ
- 水道の夜間・休日の緊急連絡先 水道局電話受付センター ☎211-7770

非常持ち出し品・備蓄品

次の例を参考に、家族構成や年齢に応じて、非常持ち出し品・備蓄品を用意しておきましょう。避難場所へは、非常持ち出し品を持って避難しましょう。

備蓄品

- ☐食料品（レトルト食品、即席麺など）
- ☐飲料水（目安：1人1日3リットル、3日分）
- ☐粉ミルク・ほ乳瓶・紙おむつ
- ☐携帯トイレ
- ☐乾電池
- ☐工具セット
- ☐給水容器（給水ポリタンクなど）
- ☐ロープ
- ☐ビニール袋
- ☐カセットコンロ
- ☐ランタン（LEDなど）
- ☐ディッシュペーパー・ウェットティッシュ
- ☐シガーソケット充電器
- ☐ペットのえさ
- ☐水のいらないシャンプー
- ☐救災時の笛

非常持ち出し品

- ☐現金・貴重品（避難先で現金・貴重品を身に付けておくためのポシェットなどがあると便利です）
- ☐ライター・マッチ
- ☐懐中電灯
- ☐モバイルバッテリー
- ☐厚手の手袋
- ☐携帯ラジオ
- ☐救急医療品・常備薬
- ☐お薬手帳
- ☐マスク
- ☐生理用品
- ☐タオル
- ☐体温計

冬の備え

- ☐防寒衣・衣類・長靴
- ☐寝袋
- ☐携帯カイロ
- ☐毛布
- ☐消毒液

- ☐防災保温シート
- ☐段ボール
- ☐新聞紙
- ☐発電機※
- ☐カセットボンベや灯油式のポータブルストーブ※

※一酸化炭素中毒の恐れがあるため換気の悪いところでは絶対に使用しない。

停電への備え

平成30年9月6日の北海道胆振東部地震では、道内各地で長時間にわたり停電となりました。停電は日常生活にさまざまな支障をきたします。日ごろからの備え・準備を心掛けましょう。

<h3>カセットコンロや発電機を準備しましょう</h3> <p>IH調理器や給湯・暖房設備は使用できません。カセットコンロやポータブルストーブ、発電機などを準備しましょう（オール電化の家庭は注意しましょう）。</p>	<h3>モバイルバッテリーを準備しましょう</h3> <p>携帯電話やスマートフォンは、家族との連絡や情報の入手に有効です。日ごろから充電を心掛け、モバイルバッテリーを準備しましょう。</p>	<h3>車の燃料は小まめにに入れておきましょう</h3> <p>車が使えると暖を取れるほか、テレビ・ラジオの視聴やシガーソケットからの充電が可能です。日ごろから燃料は小まめに入れるよう心掛けましょう。</p>	<h3>水の確保とトイレの利用に注意しましょう</h3> <p>断水すると、トイレが流せなくなります。お風呂に水をためるなど、生活用水も確保しましょう（マンションにお住まいの方は、配管の不具合を確認し終えるまで携帯トイレを利用しましょう）。</p>
--	--	--	--

災害用伝言ダイヤル「171」

災害が発生し、安否確認などの通話が殺到して電話がかかりにくくなった場合でも、伝言の録音・再生により被災地の家族や親族・知人などと連絡を取ることができます。ご利用方法は、「171」をダイヤルし、利用ガイダンスに従って伝言の録音や再生を行います。

※詳しい内容は、NTT東日本のホームページ（<https://www.ntt-east.co.jp/saigai/>）で確認してください。

防災アプリ「そなえ」



気象や避難に関する情報が見られるほか、地図や災害シミュレーションで自宅周辺の避難場所や危険性を調べられます。



AppStore



GooglePlay